

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護学概論	単位 (授業時間/時間数)	1 (28/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	専任教員	講師所属	福岡水巻看護助産学校		

授業のねらい

この授業では、「看護とは」何か、看護の概念・看護の機能と役割について理解する。そのため看護の定義・概念、看護の対象の理解、看護専門職の役割・活動、看護過程の概念、看護の歴史的変遷、看護実践を支える法律、専門化する看護・看護の動向、看護倫理、保健・医療・福祉制度と其中での医療チームとの連携、看護師の役割といった内容を学習する。学習する過程において、看護の対象となる人間の尊厳、人権に関する考えを深め、看護について考える基盤をしっかりと身につけていただきたい。

授業目標

1. 看護の対象について人間の特性と関連させ、代表的な理論家の考え方にに基づき一人の統合体として深く理解した上で、看護の概念および看護の機能と役割について説明できる。
2. 健康の概念、様々な健康観について理解し、ライフサイクルと健康という視点から健康増進に対する関わり方を説明できる。
3. 看護実践における問題解決思考としての看護過程と看護診断についての成り立ちを中心に、歴史的背景を踏まえながら説明できる。
4. 看護倫理に関する基本的な知識を理解し、看護者自身が倫理的意思決定を行うことの重要性を説明できる。
5. 看護実践における法的基盤を理解し、看護師の法的責任について説明できる。
6. 保健・医療・福祉におけるチームとしての連携の重要性と、看護者の役割を説明できる。
7. 看護ケア（看護援助）の基本的役割と看護実践のための理論的根拠の必要性（EBN）、研究的取り組みの重要性を説明できる。
8. 看護の専門性、看護の動向について説明できる。
9. 講義を受けて看護観をもつことの重要性を理解し、自分の大切にしたい看護を表現できる。

授業の進め方

看護専門職者としての基礎的な知識や考え方を学ぶ科目なので「看護とは何か」について、考えながら受講する。講義は一斉講義、GW、発表など取り入れて行うので積極的に学習する。ポイントを示すので、各自でノート、資料作成を行う。

予習：教科書、参考書の該当箇所を必ず読んで講義に臨む。

復習：講義で紹介した様々な用語の概念や定義について、復習し理解を深める。

教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔1〕看護学概論（医学書院）

ナイティンゲール看護覚え書決定版（現代社）

副読本

「あなたの声が聞きたい」

「看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践」

評価方法

終講時 客観式テスト（100点）

試験時間は時間数に含む。（まとめ1時間、試験1時間）

出席、終講時試験、レポート、発表、課題、提出状況等を踏まえて総合的に評価する。